



2021 年度日本財団助成事業 「海と日本プロジェクト」

海のお仕事体験プログラム (海と日本2021)

実施報告書

目次

1. 目的
2. 事業概要
 - (1)箱地域クリーンアッププロジェクト
 - (2)釣り体験教室
 - (3)おさかなマップ
3. 事業成果物
4. SNS閲覧実績 (2020年7月～2021年2月)

事業ID:2020566603

事業名:海のお仕事体験プログラム（海と日本2020）

団体名:特定非営利活動法人イドバタ



1. 目的：

参加者に普段の生活で口にする海産物が食卓に並ぶまでに多くの人が関わっていることを学んでもらい、海の問題を自分事化するきっかけを提供する。



2. 事業概要：

生産現場から加工・販売まで多くの人が関係していることを学んでもらうために、今年度は地域の名産であるカキを中心に実施。また、一時的な効果に留めないように、自分の行動が社会につながっていることを学んでもらうために社会と仕事体感ワークショップとして「SDGs de 地方創生」を活用。

- (1)社会と仕事体感ワークショップ
- (2)カキ作業場スタディツアー
- (3)カキ作業場見学・パッケージデザインワークショップ
- (4)カキの販売体験

(1)社会と仕事体感ワークショップ

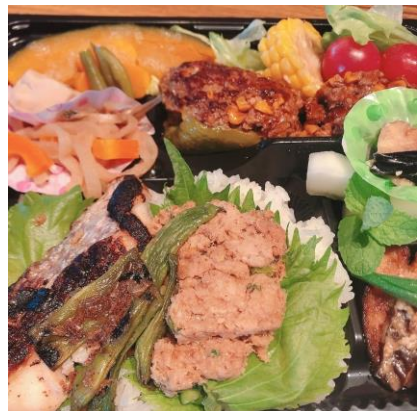
時 期 : 2021年7月18日

場 所 : 香川県三豊市詫間町箱 箱浦ビジターハウス

参加人数 : 11名

内 容 :

海の問題を自分事化してもらうために「SDGs de 地方創生」を用いて自分の行動が社会とつながっているということを模擬体験するワークショップを実施。学んだことを行動に移すべく、その直後に任意参加の海岸清掃を企画。また、昼食には里海ランチとして地域で獲れた鯛の弁当を用意。



(2)カキ作業場スタディツアー

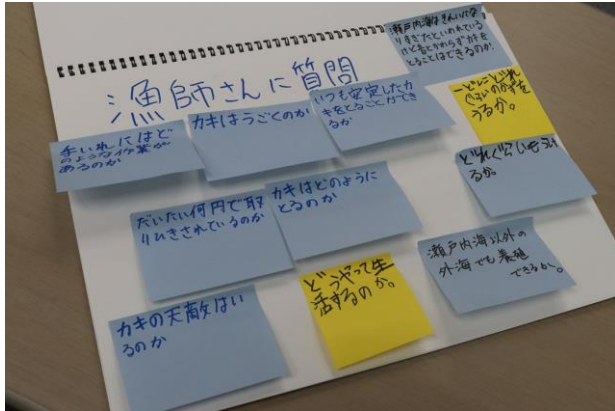
日時：2021年10月10日

場所：香川県三豊市詫間町 カキ共同作業場・三豊市文化会館

参加人数：8名

内容：

カキの幼生が付着したホタテガイをロープにはさみこむ体験を行うスタディツアーを実施。その後、参加者に対し、まちづくりに関するバックカスティングを用いたワークショップを実施。



(3)カキ作業場見学・パッケージデザインワークショップ

日 時 : 2021年11月23日

場 所 : 香川県三豊市詫間町 カキ共同作業場・三豊市文化会館

参加人数 : 34名

内 容 :

カキ作業場スタディツアー後に、12月5日の地域のマルシェでカキを販売するための準備ワークショップを実施。ワークショップでは販売に向けた価格決めと、パッケージと販売の際に使用するPOPの企画を実施。



(4)カキの販売体験

日時：2021年12月5日

場所：香川県三豊市詫間町箱 箱浦ビジターハウス前

参加人数：20名

内容：

来場者数約700人の地域のマルシェで参加者20名でカキの販売体験を実施。事前に実施したワークショップで決めたカキの単価と、パッケージデザインで仕入れたカキ50kgを約70名に2時間で販売(一人あたりの購入上限は1kg)。



成 果：

参加者に普段の生活で口にする海産物が食卓に並ぶまでに多くの人に関わっていることを学んでもらい、海の問題を自分事化するきっかけを提供することができた。特に地域で生産しているカキについては、参加者の2割が本事業実施までその存在を認識しておらず、5割が食べたことがないという状況であったため、今年度の本事業で取り扱った地域のカキを通じて、地域の海と水産業に触れてもらい、後継者不足や気候変動の影響など海の問題を新たに認識してもらうことができた。

今後も継続して、今年度の内容をモデルケースとして地域の水産加工企業との連携に挑戦することで海の問題を自分事化する子供たちを増やしたい。

その初年度として、以下関係各所との協力関係を構築することができた。

- ・地域の漁業協同組合との共同事業(カキのオリジナルパッケージデザイン)1件。
- ・三豊市教育委員会を通じて市内全小学校に広報に関する協力体制構築。
- ・多く人が集まる地域のマルシェ(来場者数約700人)での子供たちの販売体験による周知。

課 題：

1.当初の予定では連続する2日間あるいは3日間でスタディツアー・ワークショップ・販売体験を実施することとしていたものの、参加者の集中力が持続しないことが分かった。

対応案としては、対象年齢を上げることに加え、実施時間の短縮・全員が手や足を使う時間を増やすことが考えられる。

2.海に対する意識の高い子供向けに更に行動変容を促すトップアップ型の事業を想定していたが、参加者数が限定的となり助成事業としての投資効果が低くなることが懸念された。

助成事業の投資効果を最大化するためにも意識がそこまで高くない子供に対し、事業を通じて海に対する意識を高めてもらう事業設計としていきたい。

3. 事業成果物：

- 公式サイトにおける掲載記事 15本
- 広報用チラシ 7月実施「海のお仕事体験プログラム～社会と仕事体感ワークショップ～」
- 広報用バナー 10月実施「海のお仕事体験プログラム～カキ作業場スタディツアー～」
- 広報用チラシ 11月実施「海のお仕事体験プログラム～カキ作業場見学・パッケージデザインワークショップ～」
- 殻付きカキ販売の商品パッケージ
- 報告書
- Facebookページ <https://www.facebook.com/hakoshonai>
(PV数：1389 エンゲージメント：163)